

2011年度 第2四半期 決算/中期経営計画「VISION80」 説明会
主な質疑応答

- Q 1 2011年度の営業利益を下方修正(1,600億円→1,365億円)しましたが、要因分析を教えてください。
- A 1 為替の円高影響が70億円、インフォメーションソリューションの一部の事業における市況悪化影響やタイの洪水により一部の事業で使用する部品が逼迫する影響を織り込んでいます。
- Q 2 デジタルカメラの今期の損益の見通しについて教えてください。
- A 2 「X-100」など高級機の売上の比率が上昇し、昨年よりも利益は改善する見通しです。
- Q 3 M&Aと自社株買いの考え方について確認させてください。
- A 3 M&Aについては、メディカル・高機能材料の分野での実施を想定しています。それに備えてある程度の現金を保有したいと考えています。自社株買いについては、当社の株価が非常に低く評価されている状況であれば、機動的に実施を検討したいと考えています。
- Q 4 中期計画の2013年度 営業利益 1,800億円の前提について医薬品事業で承認待ちの薬品の業績予想への織り込みはどうなっていますか。
- A 4 T-705は現在審査中ですが、今年度中には承認されるという前提、中期計画にはある程度織り込んでいます。
- Q 5 フラットパネルディスプレイの売上は、中期計画上では減収でしょうか。
- A 5 中期計画資料7ページに示したグラフは、高機能材料全体の売上目標を示していますが、産業機材や電子材料などの売上比率が上昇し、相対的にフラットパネルディスプレイの売上の比率は減少します。

以上